

定例記者会見(令和4年 11 月 21 日) 市長原稿(議案関係)

皆さま方には、平素より市政運営にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。それでは、はじめに 11 月 28 日開会の裾野市議会 12 月定例会に提出いたします議案につきまして、ご説明申し上げます。

提出いたします議案は、報告 1 件、条例 11 件、補正予算 4 件、その他 1 件の合計 17 件であります。

第 91 号議案 令和 4 年度裾野市一般会計補正予算(第 10 回)につきましてご説明申し上げます。

今回の補正予算は、既定の予算総額に 1 億 3,000 万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ 210 億 5,000 万円とするものであります。

歳入の主な内容としまして、

市税では、法人市民税法人税割の増額を見込み 3 億 6,000 万円の増額、国庫支出金では、戸籍住民基本台帳費補助金の増額などにより 643 万 3,000 円の増額、寄付金では、ふるさと納税寄附金の増額を見込み 5,108 万 9,000 円の増額、繰入金では、市税収入などの増額により財政調整基金繰入金を 3 億 203 万 9,000 円減額するものであります。

次に歳出については、主な事業を 4 つ挙げさせていただきます。

- ① 現在、市役所本庁舎のみでしかできない、マイナンバーカードの更新手続きにつきまして、これを市内郵便局においてもできるようにする事務委託費等に 1,212 万 2,000 円を増額します。
- ② さらなる「ふるさと納税」寄附の増加に向けて、新たに店舗型ふるさと納税を開始することや、今年度の寄附額の増加を見込み、ふるさと納税返礼品発送事業に 2,310 万円を増額します。
- ③ 令和 5 年 4 月の入学に向けて、千福が丘小学校特別支援学級の増室を行うための工事費・備品購入費として 240 万円を増額します。
- ④ 昨今の燃料価格・電気料金の高騰を受け、各公共施設も電気料金等の大幅に増加していることから、光熱水費などを総額で 4,583 万 3,000 円増額します。

以上が補正予算の概要であります。

その他の補正予算、条例改正などに関する議案につきましては、お配りした資料をご覧ください。ただければと思います。

定例記者会見(令和4年 11 月 21 日)市長原稿(議案以外)

それでは、議案以外についてご説明申し上げます。

はじめに「市民文化センター大ホールスプリンクラー事故調査委員会について」です。

まず、負傷した楽団員、大切な楽器を損なわれた皆様に、心からお見舞い申し上げます。

また、大ホールが閉鎖されたことにより、講演などを行うことが出来なくなってしまった市民の皆様に深くお詫び申し上げます。

従前より設置を公表しておりました事故調査委員会につきましては、委員長に、静岡大学工学部教授の近藤淳(こんどうじゅん)先生にご就任いただく予定です。

そのほかの委員につきましては、現在、調整を行っております。

第1回の事故調査委員会は、11月28日月曜日の午後に実施する予定です。

今後変更となることがございますので、日時と会場が正式に決まりましたら、あらためてご案内させていただきます。

きたん

なお、事故調査委員会は、委員の皆さまから忌憚ないご意見をいただくため、非公開とさせていただきます。

また、先生方の研究活動に支障の無いよう、委員長をはじめ委員の皆さまへの直接の連絡や取材はお控えいただきますようお願い申し上げます。

事故調査委員会に関するご質問や取材は、事務局である弁護士法人 御宿長町法律事務所の御宿哲也弁護士宛てにご連絡ください。

今後も、一刻も早い原因究明を行うことができるよう、市として全力を尽くしてまいります。

本件については以上です。

【市長】

続いて、資料No.6「産婦人科・小児科オンライン医療相談の本格導入について」です。

この度、裾野市は 8 月 18 日から 11 月 30 日までの実証実験を経て、静岡県内で初めて株式会社 Kids Public と産婦人科・小児科オンライン医療相談の本格導入をすることとなりました。

【健康推進課】

Kids Public によるオンライン医療相談は、スマートフォンやパソコンがあれば、どこにいても簡単に産婦人科医や小児科医、助産師とつながれる素晴らしいシステムです。

従来由市による電話相談や訪問での相談に加え、24 時間オンライン相談や夜間相談などを受けることができるようになり、コロナ禍にあってもより手厚い妊娠・出産・子育てサポートを受けていただくことができるようになります。

当初100人を予定していた登録者数が、実証実験開始後10月末時点で既に138人の方にご登録をいただきました。

12月1日からは本格導入となります。これまで電話や窓口での相談に高いハードルを感じていた方にも手軽に思いついたときに相談ができます。ぜひ多くの皆様に今後も利用していただき健康的な生活やお子さんとの楽しい時間が長く続くよう支援して参ります。

【市長】

続いて、資料No.7「富士山火山避難訓練の実施について」です。

令和4年11月27日(日)に、裾野市須山地区におきまして、富士山火山を想定した避難訓練を実施します。

【危機管理課】

富士山火山を想定した避難訓練を令和4年11月27日(日)に実施します。

実施場所は、裾野市須山地区におきまして、須山地区住民や民生委員のほか、自衛隊、消防、警察などの関係防災機関が参加して行われます。

訓練内容としましては、須山地区において富士山の噴火警戒レベルが3(入山規制)からレベル4(高齢者等避難)に引き上げられた場面を想定し、仮想した避難所(須山小、地区研修センター)まで自家用車又はバスを使用して避難訓練を実施します。

訓練は8時から12時を予定しております。

また、地域住民の参加による「共助」の避難支援等の研究会と地区の特性に応じた避難要領の説明、自衛隊車両やトヨタのMIRAIトレーラーの展示や防災スタンプラリーなど子どもでも楽しく防災を学べる場としてイベント会場を設置します。

この富士山火山避難訓練に先駆けて、須山地区における防災意識の醸成を図るため、須山中学校や須山小学校で防災授業などを行いました。

この訓練の結果や実績を検証・評価し、市富士山火山広域避難計画の改定につなげたいと考えております。

なお、訓練当日は、須山小学校に報道用駐車場をご用意しておりますので、よろしくお願ひします。

【市長】

続いて、資料No.8と9についてです。こちらは、産業観光課 杉本主査より併せて説明いたします。

資料No.8は「店舗型ふるさと納税システムの導入」についてです。

現在、市内3店舗で実施しております。

私も自らトップセールスとして、協力店舗を回りながら、歳入確保に努めてまいります。

資料No.9は「富士裾野高原みんなのクロスカントリーラン」です。

誰でも気軽に参加できるランニングイベント「富士裾野高原みんなのクロスカントリーラン」を開催します。

【産業観光課】

11月から、店舗型ふるさと納税システムの導入を始めました。

通常のふるさと納税の場合、民間のECサイトを利用してふるさと納税を申請し、後日、返礼品が届く仕組みですが、店舗型は、店舗等で食事やサービスの提供を受けた際、店舗に備え付けのQRコードから寄付を申請し、その場で返礼品を受け取ることが可能な仕組みであります。

実際に店舗で商品やサービスを確認した上で、現地でふるさと納税ができることが最大のメリットであります。また、事前に自宅で申請しておいて、当市を訪れた際に、店舗等で返礼品を受け取り、その場で利用することも可能です。

ゴルフ場の裾野カンツリー倶楽部、10月にグランドオープンしたヘルシーパーク裾野の2か所で、始まっております。

また、12月より東名カントリークラブやスノーパークイエティを追加し、今後は市内の宿泊施設や飲食店等、対象施設を拡大していく予定です。

なお、店舗等での取材をしていただける場合は、事前に調整いたしますので、産業観光課へ連絡をお願いします。

続いて、「富士裾野高原みんなのクロスカントリーラン」の開催のご案内です。

会場は、令和3年3月に当市が整備した「梅の里遊歩道・クロスカントリーコース」になります。

こどもから大人まで楽しめるように4つの種目を用意しています。

777mの親子ラン、小学生対象の“1.8km”ラン、中学生以上対象の“4.5km”ラン、みんなで楽しむ“2時間”リレーとなっております。

参加賞はオリジナル記録証、ヘルシーパーク裾野入浴券、地元洋菓子店「富士の里」のフルーツゼリー、裾野市の水(500ml)を用意しております。

タレントの福島和可菜さんがゲストMCとして会場を盛り上げてくれます。申込みは11月27日(日)までとなっておりますので、PR・当日の取材と、よろしくお願いいたします。

【市長】

最後に、資料No.10「ユニバーサルマナーセミナーの実施について」です。

日本一市民目線の行政サービスを提供する上で、人々の多様性を尊重した行動、対応を身につけるため、ユニバーサルマナーセミナーを実施します。

本セミナーは当市とあいおいニッセイ同和損害保険沼津支店様の「裾野市地方創生に関するパートナーシップ協定」の一環として実施するものです。

【人事課】

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様の協力を得て11月29日14時よりユニバーサルマナーセミナーを実施します。

市民の方々には高齢の方、障がいをお持ちの方、外国籍の方、子育て世代の方など様々な方がいらっしゃいます。

セミナー内ではこういった様々な市民の方を想定し、具体的な事例について学習したり簡単なワークを行ったりします。

研修をとおして職員自身が今までの行動を振り返り、今後より一層適切な配慮がされた応

対の習得することで市民の方々にとって満足度の高いサービスにつなげていきます。

受講生は、各所属推薦による職員 45 名です。

なお、本セミナーは当市とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社様の「裾野市地方創生に関するパートナーシップ協定」の一環として実施するものです。

当日は、あいおいニッセイ同和損保株式会社 静岡支店 沼津支社様よびあいおいニッセイ同和自動車研究所様にご同席いただきます。